

◎めざします。企業の繁栄と社会への貢献

公益社団法人
松江法人会会報

かけはし

法人会キャラクター
「けんた」くん



Vol.114
2020
WINTER



ごあいさつ

(公社)松江法人会 会長
松江税務署 署長
中国税理士会松江支部 支部長

野々村 健造
中尾 豊
永瀬 公男

行政だより

地方税ポータルシステム(e-LTAX)を利用すれば、インターネットで地方税の申告が簡単に行えます。

地域に生きる

(株)フクテコ(松江市東出雲町)
代表取締役 福頼 弘樹

トピックス

飲食店で使える「出雲弁会話集」発刊。
現在、改訂第2判の発刊を準備。
(とうほん倶楽部・出雲弁保存会協力)

寄稿

松江に着任して考えたこと
㈱日本政策投資銀行 松江事務所長 廣田 晃良

こんにちは (会員紹介)

中村 一美さん(有ナカムラ)
木村 俊一郎さん(㈱松尾工務店)

活動報告

本会／青年部会／女性部会

事務局日誌

行事一覧／新入会員紹介／編集後記

税務署だより

所得税の申告はスマートフォンで！
進化するスマート申告



公益社団法人 松江法人会

法人番号 7280005006685

CONTENTS

Vol. 114 2020 WINTER

「ごあいさつ」

新年のごあいさつ03

(公社)松江法人会 会長 野々村 健造

納税者の利便性向上を目指して04

松江税務署 署長 中尾 豊

松江法人会 新年のごあいさつ05

中国税理士会松江支部 支部長 永瀬 公男

「地域に生きる」

(株)フクテコ(松江市東出雲町)06

代表取締役 福頼 弘樹

「寄稿」

松江に着任して考えたこと08

(株)日本政策投資銀行 松江事務所長 廣田 晃良

松江法人会活動報告10

本会／青年部会／女性部会

税務署だより14

所得税の申告はスマートフォンで！進化するスマート申告

行政だより14

地方税ポータルシステム(eLTAX)を利用すれば、インターネットで地方税の申告が簡単に行えます。

トピックス15

飲食店で使える「出雲弁会話集」発刊。

現在、改訂第2判の発刊を準備。

(とうぼん倶楽部・出雲弁保存会協力)

こんにちは！「会員さんご紹介」16

(有)ナカムラ 専務取締役 中村 一美

(株)松尾工務店 代表取締役社長 木村 俊一郎

事務局日誌18

行事一覧／新入会員紹介／編集後記

(※敬称略)



表紙写真

「玉造温泉と玉湯川沿いの桜並木」
(松江市玉湯町)

約1,300年前から湧き出る、山陰随一の温泉地・玉造温泉。
すくなひこなのみこと
少彦名命の発見と伝えられ、『出雲国風土記』にも記載があり、「神の湯」と呼ばれている。江戸時代には松江藩藩主の静養の地にもなり、「湯之介」と呼ばれる温泉を管理する役職があった。昨年から島根県が進める「美肌県しまね」を代表する泉質を持っている。玉造という名の由来は、この地にある花仙山で良質の青めのうが採掘でき、この地の人々が玉造を生業としていたことに由来している。玉湯川沿いに桜並木と旅館などが立ち並び、歴史を重んじた落ち着いた風格を見せている。

— 法人会とは —

正しい税知識を身につけたい。もっと積極的な経営をめざしたい。社会の役に立ちたい。そんな経営者の皆さんを支援する全国組織、それが法人会です。現在、約80万社の会員企業、41都道府県に440の会を擁する団体です。税のオピニオンリーダーとしての貢献はもとより、会員の研鑽を支援する各種の研修会、また地域振興やボランティアなど地域に密着した活動を積極的に行っています。健全な納税者の団体、よき経営者をめざすものの団体、これが法人会です。

— 基本理念 —

法人会は税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体です。



法人会キャラクター
「けんた」くん

「いぬ」は、チームで行動し、人間のパートナーとしてのイメージが強く、身近な存在。法人会のメイン活動の一つである「社会貢献」の「献」＝「ケン」＝「犬」と結びつくことから親しみやすいキャラクターとしてオリジナルのデザインを作成。愛称は、機関紙「ほうじん」誌上で公募し、応募総数329点の中から選ばれた。「けんた」は、全国各地の法人会の会報やラッピングバス、鉛筆やノートなど数種のオリジナルグッズなどに使用されており、さまざまな場面で活躍している。



新年のあいさつ

(公社)松江法人会 会長 野々村 健造

令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素より法人会活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、最近の経済情勢については、内閣府の報告によれば、景気は緩やかに回復している、としております。しかしながら、多くの中小企業においては回復とはいえない、というのも実感でございます。さらに、米中貿易摩擦、イギリスのEU離脱問題、日韓関係の悪化、消費税率引上もあり、先行き不透明な情勢でございます。

こうしたなか、法人会は税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する、経営者の団体でございます。

税に関する活動としては、e-Tax、e-LTAX、ダイレクト納付、の普及を推進いたしました。そして、青年部会、女性部会の皆様には小中学校で租税教室を開催して頂きましたが、これは税の啓発活動と社会貢献という両面で高い評価を得ております。

本年11月には、島根において、全国青年の集いを開催予定で、実行委員会を中心に準備が進められています。会員の皆さまのご協力を宜しくお願い致します。

また、女性部会には、絵はがきコンクールにもご協力頂きました。このほか、著名な講師による講座や、税務、会計に関する説明会、実務セミナーを開催しており、これは広く一般の方にも開放いたしました。そして、税制改正の提言を、地元選出の国会議員、県知事、市長、等に対して提出いたしました。

さらに、全法連では、国税庁の後援事業として、会員による自社の内部統制について、自主点検チェックシートの活用を推進しております。また、全国の会員の景況感を、3か月毎にアンケート調査して、これを公表しており、アンケートの回答者数の増加を推進いたしました。

このような活動を継続するには組織力拡大と基盤整備が重要でございます。会員数の動向が、法人会の財政と活動に影響をおよぼすところから、昨年9月から12月の4か月間、全国の法人会と歩調を合わせ、会員増強運動を展開した

ところでございます。各支部そして提携保険会社の皆様には、新規会員獲得にご尽力いただきまして、この場をお借りして心よりお礼を申し上げますとともに、今年も引き続き、ご協力をお願い致します。

福利厚生制度については、全法連が提携保険3社と共に、50周年キャンペーンに取り組んでおります。会員の皆様には、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。会員の皆様にとつては、保険料が割安になる等、有利な制度であり、法人会にとつては、保険料の一部が、手数料として、法人会の収入となっており、法人会の事業遂行のための貴重な財源の一部でございます。松江法人会としても、今後も、福利厚生制度を推進して参りますので、引き続きご協力をお願い致します。

併せまして税務署ご当局、税理士会、提携保険会社の皆様には、円滑な法人会活動を推進するために、本年も一層のご理解、ご協力を賜りたく、宜しくお願い致します。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、実り多き年になりますよう祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



松江税務署 署長 中尾 豊

納税者の利便性向上を目指して

明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人松江法人会の皆様には、旧年中は税務行政の円滑な運営に、格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

早いもので、昨年7月に着任して半年余りが経ちました。この間、様々な会活動に出席させていただき、貴会が納税意識の高揚及び会の活性化に向けた活動に精力的に取り組んでおられる姿を目の当たりにし、とても頼もしくまた大変心強く思っております。

これもひとえに、野々村会長をはじめ、役員並びに会員の皆様方のご熱意とご努力によるものであると、改めて深く敬意を表する次第です。さて、ご承知のとおり、昨年10月からは消費税率の引上げと同時に、軽減税率制度が実施されております。

私どもといたしましては、事業者の皆様方が制度の内容を十分に理解し、適正な申告や納税

を行っていただけるよう、引き続き周知・広報に努めてまいります。

また、令和2年4月1日以後に開始する事業年度から、法人の法人税等申告につきましてe-Taxによる提出が義務付けられたことに伴い、データ形式やデータ送信容量の利便性が向上していることから、添付書類を含めた電子申告の促進にも取り組んでまいります。

ところで、まもなく迎える所得税の確定申告期間に、松江税務署では、昨年同様、くまびきメッセ内に申告会場を設けますが、従来から申告会場において、混雑し長時間に及ぶ待ち時間が発生しております。

こうした状況から、税務署では、「自宅等からのe-Taxを利用した確定申告」を推進するため、「スマートフォン」や「タブレット端末」からアクセスでき、簡単かつ自動的に税額が計算できる「確定申告書等作成コーナー」を国税庁ホームページ内に開設しております。

経営者の皆様にとりましても、従業員の方々が、ご自宅等からe-Taxで送信されること

は、休みを取るなどして寒い時期に申告会場で長時間待っていたくこともなくなり、非常に便利なツールです。

このように、国税当局としても納税者の皆様の利便性向上に取り組んでおりますので、是非ともご活用いただき、引き続きICTによる申告の推進にご協力をお願いいたします。

申告納税制度の下、税務行政を円滑に推進して行くためには、私どもの力のみでは自ずと限界があり、皆様方のお力添えが必要不可欠であります。

皆様方には、今後とも、税務行政の良き理解者として、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、公益社団法人松江法人会の今後益々のご発展と、会員各社のご繁栄を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



松江法人会 新年のごあいさつ

中国税理士会松江支部 支部長 永瀬 公男

年頭にあたり、公益社団法人松江法人会の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、平素から私ども中国税理士会松江支部に対しまして、格別のご厚情を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年の五月に新天皇がご即位され、令和という新元号が制定され新しい時代が到来しました。新天皇も上皇様と同じように国民に寄り添うことを大切に思われていることをなにより有難く思います。

また昨年は災害の多い年でもありました。地球温暖化の影響なのでしょうが異常気象により日本全国で甚大な被害に遇いました。今年は何処で起きるかわからない災害に備えるために、事前の準備が必要です。そして早めの避難が重要です。できる限り被害の無い年になりますように祈りたいものです。

この夏はいよいよ半世紀ぶりに東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。「すべ

ての人が自己ベスト目指し、一人ひとりが互いを認め合い、そして、未来につなげよう。」を三つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーターティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とするものであります。必ずや成功すると信じています。

税制改正では、消費税が10%になり、軽減税率制度も導入されました。消費税引き上げに伴う景気対策として、キャッシュレス決済によるポイント還元や、住宅取得による借入金に対する優遇税制、自動車の取得税の廃止等、景気減速を生じないための施策も導入されました。しかし国民からの不評も多い軽減税率制度の導入には疑問を感じています。消費税先進国であるヨーロッパの国々に比べ依然として税率が低い水準にあります。今後、税率は20%の水準まで引き上げられるのではないのでしょうか。軽減税率は将来の増税のための布石に思われます。

また本年一月から源泉所得税の改正が行われます。これにより、令和2年分の年末調整にお

いて、給与所得控除の引き下げ、基礎控除の引き上げ、所得金額調整控除の創設、配偶者・扶養親族等の合計所得金額要件等の見直しが行われます。これにより年末調整の業務が例年以上に複雑になると懸念されます。

松江法人会は、異業種交流の成果が最も発揮できる組織です。その事業内容は申告納税制度の円滑化、納税道義の高揚といった初期の目的のみならずこれらを維持しながら会員に対する経済活動の交流や適切な助言など、まさに中小企業の代表にふさわしい活動をしておられます。

私たち税理士は松江法人会の良きパートナーとしての役割を果たすべく努力してまいります。今後とも一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、松江法人会のますますのご発展と、会員の皆様のご繁栄とご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



「地域に生きる」

株式会社フクテコ 《松江市東出雲町》

大山を眺め中海に接した風光明媚な環境に位置する株式会社フクテコ。創業以来、一貫した小物プレスと溶接加工を主体に部品製造に携わってきた。近年は、女性活躍の推進や社員の健康づくりへの支援にも積極的に取り組みながら、「スピードへの挑戦」を合言葉に企業体質強化と技術力向上に取り組んでいる。3代目社長の福頼弘樹さん(46歳)に伺った。

**昭和41年(1966)創業。
3年前に50周年を迎えた**

(株)フクテコは、祖父・弘二さんが昭和41年(1966)に小物溶接工場開業に始まり、3年前に創業50年を迎えた。弘二さんは、終戦と同時に、兄が亡くなったことから家を継ぎ、主に農業と中海での漁業とウナギ養殖を行ってきた。水害でウナギが逃げ出し、他の道に行こうと考え、近くの実姉が嫁いだ先の金属加工所に見習いに行き、それをきっかけに金属加工の道に入った。東出雲は、大正6年に創業した佐藤造機(株)(現三菱マヒンドラ農機(株))の拠点でもある。今では、農業用機械、ドアロック部品、建設機械備品など金属部品加工を手掛けている。



東出雲に所在する三菱マヒンドラ農機の協力会社は約20社強。その中で中堅規模である。「うちは後発の会社。つくる部品の大きさなどによって会社の特徴がわかる。例えば、農機具の何百の部品中での部分をつくるのかによってその役割がある(弘樹社長)。品質、コスト、付加価値などのノウハウ集積を重ねながら、会社の存在価値を高める努力を惜しまない。

平成17年(2005)に Uターン入社

弘樹さんは、大学卒業後、関西の農機具メーカーに入社。「後々の会社後継のことを考えていたわけじゃなかった。金融のほか地元にかかわりもある農機具メーカーもいかな、と思っていたのでたまたまだった」と振り返る。

大阪本社、福岡、仙台にて、総務、財務、経理、人事、情報システムなど内務部門を8年間歩み、平成17年(2005)、30歳の時に後継者含みでUターン。そして、平成21年

(2009)、現在の(株)フクテコ(旧社名 福頼鉄工所)に商号を変更した。資本金2,800万円。

国内での農業用機械の需要が減少する中で、受注先の開拓や加工範囲の拡大に取り組み、受注量も増加した。リーマンショックなどの影響からもいち早く回復し、現在の売上高は、年間約二億九千万円でこの15年間に約40%伸びた。

それに伴い従業員数も増加。平成22年(2010)ころから高校新卒者採用や若年層の中途採用を中心に増加を図り、平成16年(2004)の20名から、平成23年(2011)26名、平成27年(2015)30名となり、現在では、役員5名を含めて総勢35名(平均年齢47歳)である。「売り上げも増えたが人数も増えた。従業員の中には、他社を定年退職後に採用し、週に4日勤務とかの人もいる。全従業員の中で10年以上働いているのは半数以下。定年を迎えるなどして入れ替わった。今の年齢層のバランスはいい。2〜3年経つと、生産性はもっと上がると思っている」という。



任せることで自主性向上と 自立型生産活動をめざす

創業以来、経営者も現場に入り、従業員と一緒に汗を流しながらトップダウンで作業の効率化を進めてきた。人数が増えていく中で、全てに目配りすることが難しくなってきた。そんな折の社長就任である。社長交代を機に、社内制度の変更や会社の進むべき方向性を提示。まず、組織を明確にして部門長を新たに設け3部門を設定。各部門で従業員だけの毎月1回1時間の小集団活動(グループミーティング)を行った。

始めた当初は、会社や他部門への不満や要望などが多く出て、話し合いだけに必要以上の時間がかかった。納期に追われて残業が続く中での日中1時間、現場を止めることは大きな葛藤だった。それでも活動内容を従業員に任せて続けていると、徐々に前向きなアイデア出しやグループでの改善活動を実施するようにならわっていった。さらに、業務負荷のばらつきが発生した時に、従業員同士が話し合っ、部門内外の応援体制をとるなど、自発的な行動がでてきた。

従業員の自主的活動による「自立型の生産活動」をめざすために、若年層を中心に、時間をかけて資格取得や講習受講という仕事に直

接関係するものだけではなく、人材育成と人材定着に取り組んでいる。「自分の仕事はもっぱら従業員のことを考えること。昨年から『健康経営』への取り組みを始めた。会社の主役は従業員一人ひとり。それぞれの持ち味を活かした自主的な従業員づくりを通して、よりよい会社をめざしたい」と力を込める。

効果を得た家族工場見学会と小・中学生や高校生の 職場体験受け入れ事業

さらに、社長就任から始めた「家族工場見学会」や、平成26年(2014)には地元「小・中学生や高校生の職場体験受け入れ」を開始した(いずれも毎年開催)。

「幅広い世代が丸となって進むためには「相互理解」を深めることが必須」と思い始めた。家族工場見学会では、娘の手を引いて職場を回る父親の姿や、妻に加工設備の説明をする夫の姿など、「家族の一員と



しての姿」がある。運営も役割をそれぞれが果たす中で、お互いのさまざまな一面を見せ合い理解が深まる。相互理解が仕事を進めるうえでの円滑なコミュニケーションにつながり、生産性の向上に貢献している」と胸を張る。

また、小・中学生や高校生の職場体験受け入れ事業は、「職人気質で口数が少ないベテラン従業員らの一所懸命の説明は、新人教育の時に生きる。生徒や先生などに現場がみられることにより、職場環境の改善や明るい雰囲気づく

りにも効果がでてきて、さらにキャリア教育に協力することで、「地域貢献」にもつながる」と地域への熱い思いを語る。

主要な取引先は、三菱マヒンドラ農機(株)、ゴール(株)、そして(株)ヤハタである。「約半分が県外からの受注といったところ。ヤハタはさまざまな金属加工を取り扱う商社。平成22年・23年ころから、取り扱いが急激に伸びた。これから先、いろんな展示会にでてみるとか、海外を探ってみるとか、常に状況をキヤッ

チするアンテナを高くして売上確保にあたりたい」と気を引き締める。



主な加工製品



株式会社 フクテコ
島根県松江市東出雲町下意東 1634-1
TEL / 0852-52-2398
FAX / 0852-52-2565
IP電話 / 050-3026-9858
E-mail / info@fukuteko.jp
URL / http://fukuteko.jp



松江に着任して 考えたこと

株式会社日本政策投資銀行 松江事務所長 廣田 晃良

日本経済は高度成長期のように人口増加による需要の爆発的増加を背景とした右肩上がりの成長が見込めない成熟期を迎えています。このような中でご当地が廃れることなくコミュニケーションを維持発展させていくためには、地域間競争で優位性を示して人、モノ、カネを引きつけることができないかならないでしょう。競争に勝つためには何をすれば良いのか。古代中国の兵家である孫子は「彼（敵）を知り己を知れば百戦殆うからず」と述べています。松江に着任して半年、まだまだ勉強不足ではありますが、この孫子の言葉に引きつけて、頭を整理したいと思います。

まずはイメージの沸きやすい「己を知る」。これはご当地の特徴を把握することです。例として大きな特徴を2つ挙げてみます。

最初に観光資源についてです。島根県内を歩き、その観光資源の豊富さにびっくりしました。宍道湖や三瓶山に代表される自然、出雲大社や石見銀山などを生み出し

た歴史、茶道や足立美術館などが伝える文化。その他にも温泉、海と山の幸、日本酒など例を挙げればキリがありません。注目すべきは、先人たちがこれらを守り伝えてきてくれたことです。寺社仏閣、自然、文化は言うに及びません。松江城は明治時代に保存運動が起きたからこそ取り壊されることなく現代にまで伝わり、ついには国宝に認定されました。また、松江橋北地区で高さ規制が導入されなければ、宍道湖を望むことができない美しい景観は維持されなかったでしょう（松江レベルの都市でこれだけ美しい水辺の景観を維持しているところは減多にないと思います）。

さらにびっくりしたのは、これらをご当地の特徴、優位性として理解している人が必ずしも多くないことです。観光について議論していると「あまり観るべきものはない」とか「松江って何がいいんでしょうね（何もないですよ）」といった発言に出会うことがままあります。こう仰る方は、観光客を引きつけるためには、極端に言えば東京ディズニーランドやユニバーサルスタジオジャパンといっ

た「非日常」が必要とされているのかも知れません。その側面は否定しませんが、観光客が求めるのはそれだけではありません。ご当地を訪ねなければ見たり体験できない人々の日々の生活に根付いているもの、つまり「異日常」に惹かれる側面も間違いなくあります。観光とは自己発見の作業だという人もいますが、ご当地には先人たちが守り伝えてきた（域外の人達にとつての）「異日常」がふんだんにあることを改めて知るべきでしょう。

次に自然災害について。地震、台風、大雨、河川氾濫、これらに伴う断水、大規模停電。ここ数年、日本列島では自然災害が頻発し、生活基盤が破壊される事例の枚挙にいとまがありません。一方、島根においては、全く被害がなかったというわけではありませんが、全国状況と踏まえれば相対的に少ないと言っているかと思えます。南方からの風雨を伴う台風や低気圧は中国山地で遮られるため、斐伊川や宍道湖が氾濫するような大規模水害は近年発生していません（出雲大社があるからだという人もいますが）。また、地

震保険の年間保険料は全国最低水準に据え置かれています。

台風の通り道になっていたり、東海地震や南海トラフ地震に身構える地域からすると、この自然災害の少なさは大きな魅力です。自然の産物が豊富で、耕作のできる平野があり、川と海を活用して物資の運搬ができ、製鉄業をも抱えた上で自然災害が少ないのですから、古代において出雲を中心として大いに文化が栄えたのも頷けます。

では、「彼（敵）を知り」とは。経済、ビジネス目線でいうと顧客予備群を理解することになります。

そうすると先の孫子の格言は、顧客予備群や自分たちの特徴（製品・サービス）を調べて理解した上で、顧客予備群に購買行動を起こすように仕掛けることが競争を勝ち抜くために必須、と解釈してもいいでしょう。これは狭義のマーケティングです。

この点、ご当地に限らず、日本の観光地におけるマーケティング

は発展途上と言わざるを得ません。誰に訴求すべきなのかを考えていない闇雲なPRが蔓延っています。これではいくらPRにお金をかけても効果は期待できません。あるインバウンド関連のアンケートを見ると、中国や韓国の人達は日本においてテーマパークやショッピングで楽しむ傾向が読みとれます。一方、ヨーロッパの人達は自然や歴史、文化に触れることに期待を抱いています。であるならば、交通アクセスの問題はあるとは言え、ご当地において誰をメインターゲットにすべきなのかは明らかなのではないでしょうか（もちろん、より細かなメッシュをかけて調べれば別の傾向が読み取れる可能性がありますので、その上で中国や韓国の人達をターゲットにすることには全く異論はありません）。島根における外国人宿泊者数は47都道府県中最下位です。これはご当地に観光資源がないからではありません。また、飛騨市古川のようにアクセスが悪くとも人を引きつける地域がある一方で、大都市圏に近くてアクセスに恵まれていても閑古鳥の鳴い

ている観光地があることから判断通り、交通アクセスの不便さだけでなく説明はできません。偏にマーケティング目線が欠けているからではないでしょうか。なにか難しいことのように聞こえるかも知れませんが、日本の製造業においてマーケティングは当たり前の活動になっています。観光に携わる方たちにできないはずがありません。

自然災害が少ないという特徴については、誰に訴求すればいいのでしょうか。まず、企業が思いつきます。いざという時の代替拠点にもなりうるという観点から、行政は既に顧客予備群たる企業に対して積極的に働きかけています。その際にネックとなるのが、物流や人の往来を担うインフラ、高速道路や高速鉄道網などの整備が十分に進んでいないことです。確かに出雲以西の高速道路は細切れ状態にあって使い勝手が悪く、新幹線など高速鉄道網整備も遅々として進んでいません。

しかし、一方で、東日本大震災など相次ぐ自然災害に伴う甚大な被害の発生を目の当たりにして、

日本のレジリエンス（自然災害などからの回復力）強化の観点より第二国土軸、日本海国土軸形成の必要性がこれまで以上に強く叫ばれており、政治や行政もその実現に向けて動きつつあります。であるならば、働きかけるべきターゲットは政治であり、行政であり、そしてインフラ整備に多大な税金が投入される以上、国民ということになります。便益を受けるのも当然国民であり、新たな国土軸形成に必要なインフラを整備するには国民の理解が絶対に必要です。かつ、今はまさにそのような理解を得やすい環境にあるのではないのでしょうか。

冒頭に述べましたが、勉強不足の中での整理であり、至らぬ点が多々あるかと思えます。地域に根ざした活動を日々行い、日本そして世界に目を向けることで自分の考えをブラッシュアップしていく所存です。皆様とお会いした際には、是非意見交換させて頂きたいと思えます。

本 会

◎『経営者講座』を開催

講師に政治アナリストの伊藤淳夫氏をお招きし、9月11日ホテル一畑で開催。数々の政



講演される伊藤氏

党本部に勤務、事務局長などを歴任され、現在は政治アナリストとして執筆、講演、テレビ・ラジオ出演で活躍される伊藤氏。『流動化する日本政治とその行方』と題し、日本政治が抱える課題や、折しもこの当日に行われた第2次安倍内閣の第2次改造について、様々な角度から解説されました。またご自身が出演されるテレビ番組での逸話など、ユーモアを交えたお話も飛び出し、参加された多数の方々が興味深く耳を傾けていました。

◎『税制改正説明会』

9月21日松江税務署から講師をお招きし、くまびきメッセの国際会議場で開催した説明会には企業の経営者・経理担当者を中心に105名が参加。



多数の方にご参加いただきました

法人税、消費税の改正点と軽減税率制度についての説明の後、「自主点検チェックシート・ガイドブック」の活用法、税務調査における誤りの事例など、具体的に税務事務に関するポイントを解説され、解りやすい説明に皆さん熱心に聞き入っていました。

◎『支部大会』―地域の会員が集う―

今年度も各地域で支部大会が開催されました。活動報告や会計報告等の後は、令和元年度会員増強運動の目標が掲げられ、いずれの支部長も新規会員獲得に向けて一層の取り組みを呼びかけていました。

税務研修会では、はじめに松江税務署の北澤副署長に『消費税率改正後の状況について』と題し、講話をしていただきました。軽減税率制度導入後も特に大きなトラブルはないこと、また消費税の計算方法などの複雑な部分について、テンポ良く細やかに解説されました。続いて、法人課税第一部門の藤田統括官が『社内監査自主点検について』と題し、自主点検チェックシートの解説など、企業の税務コンプライアンス向上について説明されました。

大会後の懇親会では、ご出席いただいた税務当局と意見交換を図る貴重な場となっています。各所で和やかな歓談が交わされ、地域ごとの特色ある親睦風景が見られました。



挨拶をする安来支部長

■令和元年度会員増強運動目標

(令和2年1月7日現在)

支部名	稼働法人数	新規加入目標	実績 ★は達成	達成率	会員数 (増加後)	加入率
城北	163	3	★ 3	100.0%	74	45.4%
城東	304	5	★ 5	100.0%	164	53.9%
城西	390	8	★ 8	100.0%	179	45.9%
白湯	178	4	★ 4	100.0%	73	41.0%
朝日	230	5	★ 4	80.0%	106	46.1%
雑賀	135	3	★ 3	100.0%	46	34.1%
乃木	405	8	1	12.5%	176	43.5%
古志原・八雲	451	11	5	45.5%	150	33.3%
津田	370	7	★ 6	85.7%	168	45.4%
川津	561	12	★ 10	83.3%	233	41.5%
東松江	257	4	2	50.0%	141	54.9%
鹿島・島根・美保関	170	3	★ 3	100.0%	90	52.9%
東出雲	253	4	★ 4	100.0%	150	59.3%
玉湯	97	2	★ 2	100.0%	46	47.4%
宍道	134	2	★ 2	100.0%	83	61.9%
安来	426	7	★ 7	100.0%	237	55.6%
広瀬・伯太	130	2	★ 2	100.0%	63	48.5%
合 計	4,653	90	71	78.9%	2,179	46.8%

◎『第61回ゴルフコンペ』を開催

―優勝は木村俊一郎氏―

秋晴れの10月26日、島根ゴルフ倶楽部で開催した第61回会員親睦チャリティーゴルフコンペには、会員企業より45名が参加。個人の部、団体の部の上位入賞を目指し、汗を流しました。今大会の優勝は、木村俊一郎氏(株松尾工務店)。支部対抗の部では、城西支部が東出雲支部を僅差で破り、優勝。笑顔でたたえ合う皆さんが印象的でした。

参加者のご厚意で募られたチャリティーホールでの浄財44,000円は、当会が取り組んでいる社会貢献活動の一環に役立てられます。主な成績は次の通りです。(敬称略)

〈個人の部〉

優勝 木村俊一郎 (株松尾工務店) NET 70・6
2位 片岡佑介 (片岡食料品店) NET 71・8
3位 ジェームス・ウィティセマヌ(有)大橋館) NET 72・0

第61回会員親睦ゴルフコンペ賞品協賛企業(50音順)

●アフラック生命保険(株) 島根支社 ●(株)イトハラ水産
●(株)内田工務店 ●AIG損害保険(株) 松江支店 ●(有)大橋館 ●(株)大前組 ●(株)キグチテクノス ●(有)きたがき ●山陰クボタ水道用材(株) ●山陰水道工業(株) ●山陰中央テレビジョン放送(株) ●島根水道(株) ●島根電工(株) ●島根トヨタ自動車(株) ●(株)島根マツダ ●松栄印刷(有) ●第生命保険(株) 島根支社 ●大同生命保険(株) 山陰支社 ●島根ゴルフ倶楽部 ●(株)ナカサ ●日海通信工業(株) ●(株)野津旅館 ●(株)ホテル一畑 ●(有)横戸商店 ●松江一畑交通(株) ●松江土建(株) ●(有)丸エム ●丸永建設(株) ●(株)ユニコン ●若林建設(株) ☆ご協力ありがとうございました☆

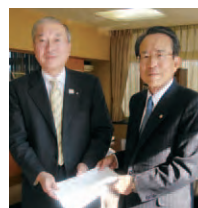


内田大会委員長から優勝カップを受け取る木村氏

『令和2年度税制改正に関する提言』

―地方自治体にも要望―

全法連では毎年秋に税制改正に関する提言活動を行っています。当会も野々村会長・尾添税制委員長が、11月15日に藤原孝行島根県副知事、中村謙二島根県議会副議長、12月9日に松浦正敬松江市長、森脇幸好松江市議会議長を訪ね、要望書を手渡しました。



松浦松江市長に要望書を手渡す野々村会長

令和2年度税制改正スローガン

- 経済の再生と財政健全化を目指し、歳出・歳入の一体的改革を！
- 適正な負担と給付の重点化・効率化で、持続可能な社会保障制度の確立を！
- 中小企業は日本経済の礎。活力向上のための税制措置拡充を！
- 中小企業にとって事業承継は重要な課題。本格的な事業承継税制の創設を！

『経理担当者実務講座』を開催



栗井先生の説明に聞き入る参加者の方々

8月9日・9月9日の2日間、くびきメッセにて「経理担当者実務講座」を開催しました。講師は昨年に引き続き、税理士の栗井辰也先生。テーマは『中小企業経営者と経理担当者のための法人決算・申告における会計と税務』で、1回目は会計に関する基礎的な内容を中心に解説。2回目は法人税法、消費税法に関する内容について、誤りやすい事項については具体的な事例を踏まえて説明されるなど、いずれも実務に直結する内容を受講者の方々は注意深く聞き取っていました。

『中小企業会計啓発普及セミナー』



熱心な口調で語られる橘氏

独立行政法人中小企業基盤整備機構の後援を受け、松江商工会議所と共催で毎年開催しています。今年度も『企業の経営力強化を目指す会計』をテーマに、10月29日「第1回基本編」、11月22日「第2回応用編」と、2回に分けて行いました。講師は(独)中小企業基盤整備機構の人材支援アドバイザーで中小企業診断士の橘真美子氏。会計を活用するメリットや会社運営への活かし方についてや、会計を活用した事業計画の策定についてなど、具体的な例も挙げながらの解説に、参加された企業経営者・経理担当者が耳を傾けていました。

『役員・厚生委員会合同視察』

12月19日・20日の両日、総勢17名にて兵庫県尼崎市・大阪市に出かけました。



「挑戦」の二文字と共に

はじめに、兵庫県尼崎市の(株)クボタ阪神工場での視察見学へ。こちらは世界トップレベルの生産規模を誇る、最大口径2,600ミリメートルまでの水道用ダクタイル鋳鉄管を生産する鋳鉄管の専門工場です。映像を見ながら工場の概要と製造工程などについてご説明いただいた後、設備を固めていざ広大な工場内へ。巨大なキューポラ(溶解炉)や間近で見る溶鋼の熱気は圧巻の一言で、見学後には、お世話頂いた担当の方との質疑応答が活発に飛び交いました。

翌朝は、約1400年前、聖徳太子によって創建された「四天王寺」参拝へ。都会地にありながら、空間を切り取ったように清々しい空気が印象的でした。あべのハルカスへ移動し、地上300メートルの眺望を楽しんだ後、「落語家と行くなにわ探検クルーズ」へ。道頓堀から始まり、大阪の中心をぐるりと廻ります。低い橋を何度も潜るため、船体自体の高さ調節ができるなど最新鋭の機能を持つ旅客船に乗り込み、落語家さんの語りで大阪の歴史や文化をご案内いただきました。あまり知られていない歴史の裏話や深い蘊蓄に領きつても、さすがの軽妙な語り口に大盛り上がり。約一時間半、笑いの止まらない船旅での締めくくりとなりました。



爽やかな青空のもと参拝

『令和元年度表彰』

おめでとございます

秋の税務関係表彰において、次の方々が長年の法人会活動を通じての功績により表彰を受けられました。

◎国税庁長官納税表彰

会長 野々村健造氏

【島根トヨタ自動車(株)】

◎広島国税局長表彰

副会長 渡部俊行氏【松栄印刷(有)】

◎松江税務署長表彰

副会長 鶴鶴 順氏【中浦食品(株)】

常任理事 新宮正朗氏【(株)めのや】

理事 小宮伸春氏【(株)小宮建築設計事務所】

◎松江税務署長感謝状

理事 加藤 勇氏【和幸産業(株)】

理事 永瀬伸二氏【八東コンクリート工業(株)】

理事 間 泰治氏【(有)ハザマ】

理事 秦 康人氏【秦精工(株)】

理事 吉金 隆氏【(有)ヨシカネ服装】

理事 若林 豊氏【若林建設(株)】

税を考える週間行事

◎『出席優良法人座談会』

— 税務署との懇談の場 —

当会は、出席優良法人として、研修会・講演会の出席率が高い法人を表彰し、年に一度、松江税務署との座談会にお招きしております。今年度は11月29日に開催。

出席者による自己紹介の後、中尾松江税務署長に税務講話を行っていただきました。演題は「スマート税務行政の実現に向けて」。中尾署長は、税務行政についての自らの思い、また情報通信技術の活用による納税者の利便性向上と課税・徴収の効率化・高度化の重要性について語られました。

中尾署長による
税務講話の様子

◎『第21回 税に関する絵はがきコンクール』

— 審査会の模様 —

9月19日に行われた審査会に、仲佐女性部長が審査員として参加。1,448点の応募の中から「松江法人会会長賞」等を選出しました。審査員の方々は、ずらりと並ぶ力作に感心しながら真剣な眼差しで選んでいらつしました。

審査する仲佐女性部
会長

◎『懸垂幕で一般市民へPR』

11月7日から20日にかけて、一畑百貨店の壁面に『この社会 あなたの税がいきている』と書かれた懸垂幕を設置しました。

◎『税のクロスワードクイズ』

山陰中央新報紙上で恒例の『税のクロスワードクイズ』を実施。10歳から93歳まで740名の応募がありました。

12月6日、松江税務署、当会の役員などによる抽選会で75名の当選者を選出。応募ハガキには税に関する意見や質問が多く寄せられました。

記入されたコメントや質問について
意見を交わされる皆さん【税に関するご意見を紹介します】
～皆様の応募ハガキより～

- ★税の一字がすごく硬い感じで、自分には無関心であった。クロスワードクイズをしたことで少し関心が出てました。(67歳女性)
- ★このたび、法人会という機関がある事を知りました。(41歳女性)
- 法人会会報『かけはし』は、総合病院、市役所、銀行ロビー等で閲覧していただけます。PRにご協力願います。
- ★「税」というと難しい気がしますが、それぞれがきちんと理解しておくべきことだと思います。子供の時から興味を持てるようなくみが必要だと思います。(47歳女性)
- ★税は大人でも詳しく解らない人が多いと感じます。子供には社会の中の税運用について、大人には年末調整、確定申告について学べる手段が身近にあると良いと思います。(45歳女性)
- 法人会では、小学校中学校で租税教室を開催しています。また、法人会が開催する税・経理・会計に関するセミナーは、一般の方もご参加いただけます。
- ★11/11～11/17まで「税を考える週間」、本当に考えねばと思っています、が…。毎年、確定申告の時には一生懸命考えています。(72歳女性)
- ★毎年医療費控除の申告をしています、パソコンで作成するようになってからとても楽になったように思います。(59歳女性)
- 税に関する情報は、国税庁のHP [http://www.nta.go.jp/] を、当会に関する情報は、松江法人会のHP [http://hojinkai.zenokuhojinkai.or.jp/matsue/] をご覧ください。

青年部会

◎『新入会員歓迎会並びに納涼大会』

9月9日、サンラポーむらくもで開催。はじめの挨拶で木村部会長は、新入部会員へ歓迎の意と、日頃の青年部会活動に対するお礼を述べられました。また、来年に迫った



挨拶をされる木村部会長

全国大会に向けて、改めて部会員増強などの協力を呼びかけ、「力を合わせて成功へ！」と力強く語りかけていました。また新入部会員につづいて参加者全員の自己紹介も行われ、暖かな歓迎の言葉や、来年に向けての決意に大いに盛り上がる皆さんでした。

◎『全国青年の集い』

— 大分大会に参加 —

11月8日(金) iichiko 総合文化センターで開催された「青年の集い」に、当会からは木村青年部会長をはじめ19名の部会員が参加されました。

今大会のスローガンは「湧き上がれ！未来を動かす熱きパワー」。「豊の国のおいた」からの第一歩。農業、水産、温泉、と豊かな資源を有し、第12代景行天皇により「豊の国」と名付けられた大分。湧き上がる温泉のような熱い思いと

女性部会

◎『雲南法人会女性部会との交流会』

10月10日、雲南法人会女性部会との交流会にお招きいただき、両会合わせて総勢30名が参加しました。

はじめに飯南町の「大しめなわ創作館」にて、しめ縄づくりを体験。わらを撚り合わせるには中々のコツと力が必要で、しめ縄づくりの大変さを感じながらの作業でしたが、それぞれに飾り付けたかわいらしいしめ縄の出来栄えに笑顔がこぼれる皆さんでした。



作業に集中される皆さん

また邑南町「ミセス・ロビンフッド」では、旬の食材や地元の野菜をふんだんに使った薬膳料理を頂きながら交流会が行われ、それぞれの単位会の活動について情報交換や、PRを兼ねた自己紹介など大変活発なものになりました。

最後に吉田町にて「田部家邸内、土蔵群」を見学。一般には公開されていない邸内をご案内いただきました。



田部家前にて記念撮影

こういった貴重な機会をこれからも継続させ、会活動の活性化に繋がっていききたいと思っております。

◎『第30回女性の集い』

― 広島県竹原市を訪問 ―

11月12日さわやかな秋晴れの中、バス2台総勢48名で広島県竹原市へ出かけました。

平安時代に京都・下鴨神社の荘園であったことから、安芸の小京都と呼ばれる竹原。『たけはら町並み保存地区』には、江戸時代に製塩や酒造業で栄えたお屋敷や由緒あるお寺が並びます。道の駅たけはらはに到着後2班に分かれ、道の駅内のフレンチレストラン「ル・バンブー」でのお食事と、ガイドさんの説明を聞きながら、また来年もよろしくお願いたします。



どんな焼き上がりになるのでしょうか？

◎『環境保全活動』を実施

女性部会の活動の一環として定着した『いちご（15）プロジェクト』ですが、夏の消費電力15%削減目標が由来となつていす。今年度は7月17日朝、JR松江駅にて、女性部会員・保険会社の方々総勢14名が集まり実施しました。急に蒸し暑くなつたこの日、お揃いのタスキを付けた皆さんが大きな声で地球の環境保全を呼びかける中、配付物のうちを笑顔で受け取られる方の姿も見られました。



参加者それぞれ配付前のミニタスキ

◎『青年部会視察・研修』

～福岡へ～

12月6日・7日の両日、総勢11名にて福岡県へ視察・研修に出かけました。

はじめに、アサヒビール博多工場を見学。品質管理や環境問題についてなど様々な取り組み内容をスクリーンで鑑賞後、ダイナミックなスケールの製造ラインを見学し、できたてのビールを試飲しました。翌日は「令和」ゆかりの地、太宰府市へ。賑わう中にも荘厳さを感じさせる、太宰府天満宮を参拝。全国大会の成功を祈願し、来年に向けての結束を新たにしつつ、行程を終えました。



特徴的な造りの「太宰府天満宮 楼門」前にて

パワーを原動力に、日本の未来を担う子供たちに「豊かな国」を繋ぎ、「法人会から日本を変える」という決意のもと、行動し続けよう、と大会宣言が読み上げられました。

また今大会には、来年度島根県で開催予定の青年部会全国大会に向けて島根県下各法人会から総勢で65名が参加。揃いのブルゾンを着た皆さんはスローガンの入った横断幕を掲げ、熱いPRを繰り広げていました。式典、講演会等、入念に視察され、来年に向けてそれぞれ意見を交わしながら、成功に向けて決意を新たに帰途につかれる皆さんでした。



大会式典での島根大会PRの様子



熱く語る木村青年部会長

所得税の申告はスマートフォンで！ 進化するスマート申告

スマートフォンで確定申告書を作成し、e-Taxで送信すれば、税務署に出向くことなく、自宅等で申告手続きが完了します。

スマホで見やすい専用画面

スマホ専用画面をご利用いただける方の範囲が広がりました。

項目	令和元年分確定申告で対応可能な事項
収 入	給与所得(年末調整未済や2か所以上にも対応)、 公的年金等、その他雑所得、一時所得
所得控除	全ての所得控除
税額控除	政党等寄附金等特別控除、災害減免額
そ の 他	予定納税額、本年分で差し引く繰越損失額、 財産債務調書(案内のみ)

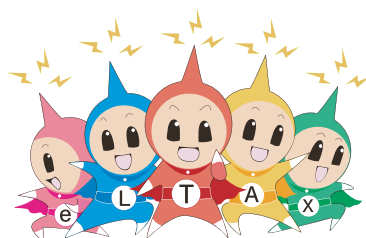
※「マイナンバーカード」と「マイナンバーカード対応のスマートフォン」をお持ちの方は、e-Taxで送信できます。
また、マイナンバーカード等をお持ちでない方も、「ID・パスワード」があれば、e-Taxで送信できます。詳しくは税務署へお問い合わせください。



申告書の作成は
こちらから！

エルタックス
eLTAX

地方税ポータルシステム(eLTAX)を利用すれば、インターネットで地方税の申告が簡単に行えます。



※eLTAX(エルタックス)は、地方公共団体が共同で運営する地方税の総合窓口システムです。
※全国すべての地方公共団体にサービス提供中

島根県内における法人関係税は、国、県、市町村に電子申告可能！

(e-Tax) 法人税

(eLTAX) 法人県民税、法人事業税、地方法人特別税、法人市町村民税

◇その他の申告手続き

固定資産税(償却資産)・住民税(給与支払報告書・特別徴収関連手続)・事業所税

複数の地方公共団体へ一括して電子納税ができます。

**2019年10月から
地方税共通納税システムがスタートしました!!**

詳しい情報はホームページでご確認ください。
<https://www.eltax.lta.go.jp>

1 全地方公共団体へ電子納付ができます!!

2 ダイレクト納付ができます!!

3 金融機関窓口等へのお出かけ不要!!

4 電子納税で納付事務の負担軽減!!

飲食店で使える 「出雲弁会話集」発刊。 現在、改訂第2判の発刊を準備。

松本清張の小説「砂の器」で事件のカギとなる方言として登場し、その発音が遠く離れた東北弁と類似していることでも注目を集めた出雲弁。去年8月、松江市内の飲食店経営者がつくる「とうほん倶楽部」が、居酒屋で使える「出雲弁会話集」を千部発刊し好評を得て、現在、改訂第2判発刊の準備を行っている。

松江市内の飲食店での「出雲弁会話集」が冊子になった。英語やフランス語、ドイツ語訳まで付いてインバウンド対応も兼ねている。冊子のタイトルは、「お店の人と出雲弁で話してみよう」。

居酒屋や飲食店ひしめく松江・東本町かいわいの経営者でつくる「とうほん倶楽部」（足立真智子会長）が、約3カ月かけて仕上げた。

日本語訳（標準語）のほか、英語、フランス語、ドイツ語訳も掲載。外国語への翻訳はそれぞれ米国生まれのダスティン・キッド島根県立短期大学準教授、島根県日仏友好協会、松江日独協会が担当し、出雲弁の監修は「松江・出雲弁保存会」が受け持った。

出雲弁は、標準語よりも豊かな表現力やユーモア感がある方言だが、若い世代ほど日常生活で使うケースが減っている。「出雲弁を次世代に伝える一歩として、飲みながら会話を楽しんでもらうのも

一手」（足立会長）。会話集は、B5判で付録分を合わせると36頁。お店の人とお客さんのあいさつをはじめ、メニュー注文などのやりとりを例文で紹介しているほか、よく使う単語や熟語を掲載している。

例えば、「メニューを見せて」は、出雲弁だと「メニューをみしてごしない」。「きょうのごつつおーは、なんかいいね」（おすすめの料理は何ですか?）、「それはどこで造られた酒ですか」（そーわ、どこのさけだいいね?）。「しじみのしー」（シジミ汁）、「すずうきのめそづけ」（スズキの味噌漬け）、会計の時の「いくらですか」（なんぼかいね）など。地元料理を登場させることで、実際の飲食店で使いやすいようにした。

常連客や仲間内で話が持ち上がり、冊子にしようと決まったという。松江市からの支援を受けて作成し、飲食店のほか市内のホテル・旅館などにも配布。「話のネタに



「飲食店で使える出雲弁会話集」。松江の名産などの挿絵も会話を盛り上げそう。

なる」と人気を得た。また、同倶楽部会員の加盟店や市内の観光施設などに配布したほか希望者には300円で販売。足立さんのお店でも、地元のお客と県外から訪れたお客が会話集を手話に花を咲かせた、という。

発刊を受けて松浦松江市長にも完成を報告。市長は「外国人はこういうものをもとめているのか」とも。地元の人と地元の言葉で話すと、また印象がかわるかもしれない」という。増えつつある訪日客が、城下町・松江のお国言葉を楽しみ光景もみられるかもしれない。（お問い合わせは、同倶楽部事務局0852・25・6089）。好評を得て、現在、改訂第2作作成中で2月中の完成予定である。

有限会社ナカムラ 専務取締役

中村 一美さん

なかむら
かずみ



平成13年(2001)、ご主人が米子の介護用具貸し出し事業を行っている会社にしたことから、独立して設立。自宅で、夫婦2人それぞれ役割を担いながら活動している。

「在宅の個人向け貸し出しが対象。営業はもっぱら主人。私は福祉用具専門相談員としての業務と、電話番号と事務処理、そして時々主人と一緒に行く貸し出し用具の配達が役目。対象エリアは、主に安来、松江

から雲南。営業とケアマネージャーからの連絡を受けることから始まる」。

用具の依頼があれば相談しながら福祉用具卸会社に連絡をする。ベットや車椅子が主な用具で、ものによっては販売も行っている。

福祉用具プランナーを皮切りに、福祉住環境コーディネーター2級、訪問入浴介護従事者、可搬型昇降機安全指導員の資格を、ご主人のみが持つ。

夫婦共通では、福祉用選定相談者、ヘルパー2級など多くの介護関連資格を得ている。

平成23年(2011)からは、社内にボトルウオーター事業を行う個人事務所を立ち上げた。東京の(株)ナックが事業展開する「クリクラ安来」である。地域代理店として介護用具貸し出しとともに2本柱だ。

「両事業とも順調にきている。お客様との接点を大切にしたい、それを先ず心がけたい。決まった休みはあまり取れない。旅行にもでかけたいが、プライベート時間はなかなかとれない。クリクラ事業で、年1回東京の会議にでかける時が唯一の旅行だった時もある」。

元気で快活な人柄がうかがわれる。

松江市西茶町で育った。高校卒業後、近くの化粧品関係のチェーンストアに15年ほど勤めた。その間、19歳でご主人と知り合い、翌年結婚。現在の東赤江に住む。当分は化粧品関係業界にいたが、16・17年前からご主人の仕事を手伝う。「中学生の時はバレーボールに

没頭した。

子どもは長男、長女、次男の3人。早く結婚したことからみんな20代半ばから30代半ば。長男夫婦と同居し孫が3人(1歳、3歳、5歳)の大所帯。自宅にいても家事は私が担当。仕事だけではなく孫のお世話もある」とくつたぐがない。

「次男が京都の大学で野球をしていた時、関西リーグで優勝し、神宮大会に出場したころが楽しかった。野球の応援にあちこち出かけた。3人の子どももみんな県内に住む。

最近、仲良し家族と家族ぐるみのお付き合いで、一緒に沖縄に行くなど、ようやく少しゆとりもできた。主人になにかあったらと少し心配だが、できるところまで夫婦二人で頑張りたい」と先を見据える。松江法人会女性部会理事。ご主人は安来ライオンズ会員。

●本社／安来市東赤江町331番地
●電話／0854-221-0934
●FAX／0854-221-0939
●E-mail／nakamura3577@gmail.com

こんにちは!

株式会社松尾工務店 代表取締役社長

木村

きむら
しゅんいちろう

俊一郎さん



会社設立は昭和36年(1961)、もうすぐ会社設立60年を迎える。現会長のいとこが初代社長として創業した。初代社長の息子が若くして亡くなったこともあり、2代目を継いだ父(現会長)のあとを受け、現在3代目社長にあたる。

松江北高校を卒業し、同志社大学商学部に進学。同大学を卒業後に(株)大林組に入社し、時を経ず米国のビジネススクールに入学、MBAを取得した。帰国後は、富士経済グループにて海外の市場調査に携わった後、米国フォードの金融子会社に6年間在籍。平成24年(2012)に父が社長をしていた松尾工務店に入社し、営業中心に業務を担当。「それまでは法人相手の仕事経験しかなく、個人のお客様に対する業務経験が全くなかったので本当にやっていけるか不安はあった」と振り返る。そして、入社5年目の41歳

の時に社長に就く。業務は個人住宅等の新築および改築の設計・施工が主体で、不動産の売買・仲介がそれに続く。業務エリアは、松江市、特に橋北地区の黒田、砂子、中原、奥谷、北堀などが中心で、安来や出雲などにも顧客を持つ。「信頼、尊敬される社会人集団をめざす」「感謝・感動をしていただけの商品・サービスの提供」「現状に満足・固執せず常に改善を考え実践」の3つの経営理念は、社長に就任してから、ホームページ整備に併せて整えた。座右の銘は「実るほど頭を垂れる稲穂かな」で、常に謙虚に丁寧な仕事に取り組みたいという。

「主力とする木造枠組壁構法(ツーバイフォー工法)の住宅は、耐震性、耐火性、気密性、断熱性などといった住宅の基本性能を確保しやすく、木造軸組構法(在来工法)と比較し工期も短縮できるため、コスト面でもメリットが大きい。ただし、間取りの自由度は在来工法が優れているため、お客様の要望に応じて最適な工法を提

案している。また、建物は何十年と使い続けるものなので、特に、建てた後のフォローを大切にしている。このお客様が自分の家族だったら自分はどうするか、という気持ちを常にもって仕事に取り組んでいきたい」。

趣味は、4年前に友人に勧められて始めたゴルフという。「去年はおおよそ30回コースをまわった。気分転換になるだけでなく、ゴルフを通じて思いがけない人とのつながりができ仕事にも役立っている」と話す。

事務所の1階の『アジュール』は、解放感ある約40畳のレンタルスペース。『アジュール』はキッチンを完備していることから、料理教室や趣味の集まり、撮影スタジオとしても好評を得ているという。現在、松江法人会青年部会副部会長。松江ロータリークラブ会員。

●本社／松江市黒田町50916
●電話／0852-2311230
●携帯／090-1268001-26238
●Email／president@
matsuo-komuten.com

新入会員紹介

■城東	
(株)日本政策投資銀行松江事務所	4月8日/上定 昭仁
希林香	9月5日/嘉本 美紀子
DINING BAR 粋都	9月11日/三島 裕子
(有)ファクト	9月18日/大森 孝之
御食事処 叢雲	10月25日/青木 和子
(株)TSKネクスト	10月30日/戸谷 弘明
剛き酒 いっこ	11月1日/足立 真智子
(株)エムキューブ	12月31日/田邊 雄一
■城西	
アフラック募集代理店	飯田 晃
マツチカ(株)	4月18日/飯田 晃
(同)業研	9月5日/松近 保司
松尾友良	9月13日/木村 俊一郎
ライスフィールド(有)	12月8日/松尾 友良
(有)小川クリーニング店	12月20日/吉岡 雅裕
	12月31日/小川 和子
■白濁	
BABYL(株)	4月1日/岩木 亮二
山洋印刷(有)	12月9日/犬山 直美
(株)明宗寺	12月16日/楠 信也
■朝日	
(有)装栄	9月5日/三島 正治
(有)内海皮フ科医院	9月20日/内海 康浩
大清真産(有)	11月15日/太田 敏幸
中国労働金庫島根県営業本部	12月5日/仲田 敏幸
■雑賀	
内田建築	7月10日/内田 忠
(株)井川工務店	9月2日/井川 克己
(株)洞光寺	11月7日/諏訪 文哉
■乃木	
Tiger Meeting(同)	8月21日/内部 高志
優華	9月5日/川上 優子
(有)トラスト・A	10月7日/恩田 秋人
(株)さんちゃんファーム	10月8日/田中 正彦
狩野金属	10月28日/狩野 宗稔
■古志原・八雲	
協立サッシ	4月1日/中島 孝博
小川晃平	4月1日/小川 晃平
ゴールドソーサー	4月1日/瀬川 竜太
石倉造園	7月5日/石倉 睦雄
山陰マテリアル(株)	9月2日/岩城 克己
柏谷正人	9月6日/柏谷 正人
■津田	
ワーク山陰アタック松江店	4月1日/三村 茂樹
はっとりルームなかの	4月1日/中野 博
(株)アネスト	6月12日/小林 和己
タイガガーデン松江店	10月29日/坂本 浩司
(株)マルクオート企画	11月11日/松井 亮
山陰パナソニック(株)	12月10日/佐々木 泰造
(株)ありがとう創造社	12月31日/太田 利昭
■川津	
(有)ノック	4月12日/農口 史人
(株)K3グループ	7月16日/原 和彦
いたもち不動産	10月26日/板持 孝敏
(株)グラ・モレー	11月20日/須田 知美
シルクロード	12月26日/二上 範夫
■東松江	
アフラック募集代理店	清山 達人
	4月1日/清山 達人
(有)船本紙店	11月18日/船本 倫弘
福岡商事(株)松江支店	12月23日/宮廻 誠
■鹿島・島根・美保関	
(株)PROCEED	4月1日/濱岡 裕太
荒木石油店	12月23日/荒木 信雄
小谷 貢	12月23日/小谷 貢
■東出雲	
(株)村上工業	4月1日/村上 隆一
三和工建	4月1日/安山 義文
北尾建築	8月21日/北尾 照彰
U1 create	9月20日/森田 裕典
■玉湯	
(株)LOCAL不動産	9月27日/村上 昌生
(有)タイヤショップ玉造	12月26日/石原 忠男
■宍道	
内田ターフ	4月1日/内田 幸雄
アフラック募集代理店	福岡 幸徳
	7月23日/福岡 幸徳
■安来	
足立防水工業	7月6日/足立 冬貴
(株)LIB	7月22日/岩佐 健一
オーワン	9月25日/森脇 明美
(有)米原組	10月8日/米原 建
(株)山本建機	10月9日/山本 洋司
東京商事(株)	10月11日/湯浅 浩史
黒島屋商店	10月11日/渡部 修一郎
米子信用金庫安来支店	11月7日/末廣 真人
■広瀬・伯太	
農事組合法人 ギバムたわら	10月21日/赤名 治美
平木建築工房(株)	12月31日/平木 省治

事務局日誌

7月

- 11日 ●全国青年の集い5県連会議(サンボーむらくも)7名
- 12日 ●全法連第1回広報委員会(全法連会館) 鶴鶴委員長
- 17日 ●女性部会環境保全エコ活動(JR松江駅)14名
- 18日 ●支部事務局長連絡会議(なにわ本店)8名
- 23日 ●全法連第1回総務委員会(全法連会館) 内田委員長
- 24日 ●大同生命50周年記念式典(松江エクセルホテル東急)奥村専務
- 30日 ●松江城山稲荷神社式年神幸祭奉賛会並びに伝統・ホーランエンヤ協賛会合同解散総会(松江商工会議所)奥村専務
- 30日 ●青年の集い 総務委員会(法人会事務局)6名

8月

- 2日 ●厚生委員会(大橋館)26名
- 8日 ●ゴルフコンペ実行委員会(島根県商工会館)9名
- 9日 ●第1回経理担当者実務講座(くにびきメッセ)76名
- 19日 ●「全国青年の集い(島根大会)」第4回実行委員会(松江テルサ)13名
- 23日 ●全法連第2回専務理事等会議(全法連会館)奥村専務
- 28日 ●組織委員会(ホテル白鳥)18名
- 28日 ●支部長会議(ホテル白鳥)27名
- 29日 ●青年部会第1回会員委員会(法人会事務局)6名

9月

- 2日 ●川津支部役員会(内田工務店)8名
- 2日 ●中法連女性部会連絡協議会会長会議(ANAクラウンプラザホテル岡山)仲佐女性部会長、奥村専務
- 9日 ●第2回経理担当者実務講座(くにびきメッセ)71名
- 9日 ●青年部会新入会員歓迎会・納涼会(サンボーむらくも)20名
- 11日 ●経営者講座(ホテル一畑)116名
- 11日 ●役員・正副支部長合同会議(ホテル一畑)78名
- 12日 ●アフラック推進会議(松江エクセルホテル東急)奥村専務
- 13日 ●乃木支部役員会(松江流通センター)6名
- 13日 ●城西支部役員会(ホテル一畑)6名
- 17日 ●宍道支部役員会(ドライブインはしもと)7名
- 18日 ●全法連第33回理事会(全法連会館)野々村会長
- 18日 ●県法連第1回組織委員会 第2回厚生委員会 合同会議(プラザホテルさんべ)渡部委員長、永島委員長
- 19日 ●税制改正説明会(くにびきメッセ)105名
- 19日 ●松江地区絵ハガキコンクール審査会(松江合同庁舎)仲佐女性部会長
- 24日 ●安来支部役員会(安来商工会議所)8名
- 25日 ●白濁・朝日・雑賀・津田・東松江合同支部役員会(野津旅館)19名
- 26日 ●中法連第44回定期総会(ANAクラウンプラザホテル広島)野々村会長、事務局2名

10月

- 2日 ●城東支部役員会(大橋館)6名
- 3日 ●法人会全国大会(三重大会)(津市産業スポーツセンター)8名
- 3日 ●絵はがきコンクール島根県審査会(松江税務署)仲佐女性部会長

- 8日 ●中法連青年部会連絡協議会会長会議(ANAクラウンプラザホテル岡山)木村青年部会長
- 10日 ●雲南法人会女性部会交流会(大しめなわ創作館(飯南町)他)13名
- 11日 ●城北支部役員会(横戸商店)5名
- 16日 ●第61回ゴルフコンペ(島根ゴルフ倶楽部)49名
- 17日 ●第2回広報委員会(松江エクセルホテル東急)14名
- 18日 ●松江地区電子納税等推進共同行動協議会(松江税務署)奥村専務
- 20日 ●伯備新幹線の早期実現を求める総決起大会(安来市総合文化ホール「アルテピア」)奥村専務
- 21日 ●県法連第1回広報委員会(松江エクセルホテル東急)鶴鶴委員長
- 23日 ●安来支部大会(山常楼)38名
- 23日 ●東出雲支部役員会(お食事処はせ川)5名
- 25日 ●第2回監査会(松江法人会事務局)5名
- 28日 ●県法連青年部会連絡協議会第25回研修会(松江エクセルホテル東急)15名
- 29日 ●第1回中小企業会計啓発・普及セミナー(くにびきメッセ)56名
- 31日 ●松江市制施行百三十周年記念式典(県民会館大ホール)野々村会長

11月

- 1日 ●乃木・古志原八雲・玉湯合同支部大会(乃木公民館)38名
- 5日 ●東出雲支部大会(まつえ南商工会館)43名
- 6日 ●城北・城東・城西合同支部大会(大橋館)48名
- 8日 ●全国青年の集い大分大会(iichiko総合文化センター)19名
- 10日 ●書道パフォーマンス(イオン松江ショッピングセンター)奥村専務
- 12日 ●女性の集い(広島県竹原市)48名
- 13日 ●鹿島・島根・美保関支部大会(美保館)27名
- 13日 ●税に関する絵ハガキコンクール授与式(島根県庁)仲佐女性部会長
- 19日 ●東出雲支部大会(東出雲町商工会館)26名
- 20日 ●白濁・朝日・雑賀・津田・東松江合同支部大会(松江エクセルホテル東急)60名
- 21日 ●中法連福利厚生制度推進会議(ANAクラウンプラザホテル広島)野々村会長、木村青年部会長、奥村専務理事
- 22日 ●第2回中小企業会計啓発・普及セミナー(くにびきメッセ)45名
- 25日 ●川津支部大会(松江一畑交通)28名
- 28日 ●県法連女性部会連絡協議会(来待ストーン)36名
- 29日 ●研修会出席優良法人座談会(松江エクセルホテル東急)25名
- 29日 ●広瀬・伯太支部大会(安来市商工会広瀬本所)25名

12月

- 6日 ●税のクロスワードクイズ抽選会(法人会事務局)5名
- 6日 ●青年部会先進地視察・研修(福岡)11名
- 11日 ●調査課部会、税務研修会(ホテル一畑)23名
- 12日 ●全法連第3回専務理事等会議(全法連会館)奥村専務
- 16日 ●女性部会租税教室講師研修会(松江エクセルホテル東急)20名
- 16日 ●常任理事会(大橋館)15名
- 17日 ●「全国青年の集い(島根大会)」第5回実行委員会(松江テルサ)13名
- 19日 ●役員・厚生委員会合同視察(尼崎・大阪)17名

編集後記

昨年、温暖化対策についての国際会議で厳しいスピーチを行ったスウェーデンの少女が話題になりました。始めは話題性から関連のニュースを読んだり見たりしていたのですが、自然と環境問題に関する話題について今までもより敏感になり、今まで知らなかったことを知ることが多くなりました。

少し前ですが、消費者として「エコ」を意識した瞬間は、普通に洋服を買い、店員さんに「袋は有料ですが、いかがされますか？」と聞かれたとき。そういった流れがあり、そういうシステムのお店があるという知識もありました。が、どこかで「それだ」と思っていた自分になんか驚き、反省しました。極端ですが、関心を持たない事によって環境の悪化に加担していた、そう考えると、啓発していくべきなのではないかと、改めて実感させられます。

法人会女性部も、エコ活動に取り組んでいます。何事も、将来的に社会全体のためになること、という視点で活動をする。そのことを忘れないよう、今後とも社会の為に活動していきたいと気を引き締めながら、干支の始め、子年をスタートしたいと思います。(M)



法人会のビジネスガード
Business Guard Series

AIG 損保

世界有数の地震国、日本！
いつ、どこで大地震が発生しても
不思議ではありません。

地震災害のリスクに備えて、
回避・低減の対策を！



スロバディーガード
Property Guard

法人会の企業地震保険

企業財産保険+財物損害補償特約+地震・噴火危険補償特約（財物損害補償特約用）

地震災害のリスクから会員企業をガードします！

AIG 損害保険株式会社

URL: <http://www.aig.co.jp/sonpo>

お問合せ先

松江支店

〒690-0006

島根県松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F

TEL. 0852-26-2781 FAX. 0852-26-2776

午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

この広告は保険の概要をご説明したものです。保険の対象、建物の構造、建築年月等によってはお引受できない場合もございますのであらかじめご了承ください。
2018年1月時点の内容です。

(B-152289 2020-01)



令和二年

今年も法人会の
福利厚生制度の普及を通じ
会員企業とそのご家族の皆様
安心をお届けしてまいります
本年も
何卒よろしくお願い申し上げます

謹賀新年

〈引受保険会社〉

Aflac アフラック

島根支社

〒690-0003 島根県松江市朝日町498-6 松江駅前第一生命ビル5F

法人会フリーダイヤル ☎ 0120-876-505

受付時間/9:00～17:00（土日祝日除く）

かけがえのない 物語を支えたい。

社員全員が家族や友人のように、力をあわせて働く小さな会社。
実は、日本の会社の99%はこのような中小企業です。
そうした会社だからこそ生まれる情熱、信頼、希望、喜び、誇り...。
つまり、いくつものかけがえのない物語。
大同生命は経営者向け保険のパイオニアとして、
これからも、これからも、中小企業の経営と、
事業承継も、万が一のときの存続も、支えていきたいと思ひます。
現在、ご契約いただいている企業数は約37万社。
この数は大同生命への信頼の証であり、責任の重さでもあります。
多くの会社により大きな安心をお届けするために、
私たちに挑戦を続けます。

37万社の中小企業を支える責任。

DJIDO 大同生命

山陰支社/鳥取県米子市博労町4-356(山本ビル2F) TEL 0859-22-6741